(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7588424号
(P7588424)

(45)発行日　令和6年11月22日(2024.11.22)

(24)登録日　令和6年11月14日(2024.11.14)

(51)国際特許分類
Ｇ０６Ｑ　30/0601(2023.01)

ＦＩ
Ｇ０６Ｑ　30/0601　３１２

請求項の数　10　（全26頁）

(21)出願番号　特願2022-125871(P2022-125871)
(22)出願日　令和4年8月5日(2022.8.5)
(65)公開番号　特開2023-114967(P2023-114967A)
(43)公開日　令和5年8月18日(2023.8.18)
審査請求日　令和4年8月8日(2022.8.8)
(31)優先権主張番号　特願2022-17553(P2022-17553)
(32)優先日　令和4年2月7日(2022.2.7)
(33)優先権主張国・地域又は機関
日本国(JP)
早期審査対象出願

(73)特許権者　522051384
ジャポックスコーポレーション株式会社
東京都大田区蒲田５－２７－５
(74)代理人　110001782
弁理士法人ライトハウス国際特許事務所
(72)発明者　平山 郁夫
東京都大田区蒲田５－２７－５ ジャポックス株式会社内
(72)発明者　柿木田 隆充
東京都大田区蒲田５－２７－５ ジャポックス株式会社内
(72)発明者　平山 仁美
東京都大田区蒲田５－２７－５ ジャポックス株式会社内
審査官　松田 岳士

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　販売支援システム及び販売支援方法

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両を販売する販売者が操作する販売者端末と、車両の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムであって、
販売者端末にて、販売する車両の車検証および／または車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、
第１入力受付手段による入力を受け付けると、車検証および／または車両識別番号に関する情報をもとに前記車両の属性に関する属性情報を特定する属性特定手段と、
属性特定手段により特定した属性情報を記憶する属性記憶手段と、
購入者端末から車両の属性に関する属性情報の送信要求がなされると、購入者端末にて前記属性記憶手段に記憶された属性情報を表示する第１表示手段と、
特定した属性情報に基づき、車両に関する価格を算定する価格算定手段と
を備え、
算定した価格を販売者端末及び／又は購入者端末にて表示する、
販売支援システム。
【請求項２】
車両を販売する販売者が操作する販売者端末と、車両の購入を希望する購入者が操作する購入者端末と、サーバ装置とを備える販売支援システムであって、
販売者端末にて、販売する車両の車検証および／または車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、

販売者端末にて入力を受け付けた、車検証および／または車両識別番号に関する情報をもとに、サーバ装置にて車両の属性を特定する属性特定手段と、
購入者端末にて、属性特定手段により特定した車両の属性に関する属性情報を表示する第１表示手段と、
特定した属性情報に基づき、車両に関する価格を算定する価格算定手段と
を備え、
算定した価格を販売者端末及び／又は購入者端末にて表示する、
販売支援システム。
【請求項３】
購入者端末にて、前記車両の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける第２入力受付手段と
販売者端末へ、意思情報の入力を受け付けたこと、又は、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報を送信する第１情報送信手段と
を備える、請求項１又は２に記載の販売支援システム。
【請求項４】
販売者端末にて、前記車両に関する追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段と、
購入者端末へ、追加情報の入力を受け付けた旨の情報を送信する第２情報送信手段と、
入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする閲覧可能化手段と
を備える、請求項３に記載の販売支援システム。
【請求項５】
第１情報送信手段が、意思情報の入力を受け付けたこと、又は、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報とともに、前記車両に関する追加情報を入力するためのページにアクセス可能な情報を送信する、請求項３に記載の販売支援システム。
【請求項６】
購入者端末にて、前記車両に関する追加情報の表示要求を受け付ける第２入力受付手段と
販売者端末へ、追加情報の表示要求を受け付けたこと、又は、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報を送信する第１情報送信手段と
を備える、請求項１又は２に記載の販売支援システム。
【請求項７】
販売者端末にて、前記車両に関する追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段と、
購入者端末へ、追加情報の入力を受け付けた旨の情報を送信する第２情報送信手段と、
入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする閲覧可能化手段と
を備える、請求項６に記載の販売支援システム。
【請求項８】
第１情報送信手段が、追加情報の表示要求を受け付けたこと、又は、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報とともに、前記車両に関する追加情報を入力するためのページにアクセス可能な情報を送信する、請求項６に記載の販売支援システム。
【請求項９】
車両を販売する販売者が操作する販売者端末と、車両の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、
販売者端末にて、販売する車両の車検証および／または車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付ステップと、
第１入力受付ステップにて入力を受け付けると、車検証および／または車両識別番号に関する情報をもとに前記車両の属性に関する属性情報を特定する属性特定ステップと、
属性特定ステップにより特定した属性情報を記憶する属性記憶ステップと、
購入者端末から車両の属性に関する属性情報の送信要求がなされると、購入者端末にて前記属性記憶ステップにて記憶された属性情報を表示する第１表示ステップと、

特定した属性情報に基づき、車両に関する価格を算定する価格算定ステップと
を有し、
算定した価格を販売者端末及び／又は購入者端末にて表示する、
販売支援方法。
【請求項１０】
車両を販売する販売者が操作する販売者端末と、車両の購入を希望する購入者が操作する購入者端末と、サーバ装置とを備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、
販売者端末にて、販売する車両の車検証および／または車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付ステップと、
販売者端末にて入力を受け付けた、車検証および／または車両識別番号に関する情報をもとに、サーバ装置にて車両の属性を特定する属性特定ステップと、
購入者端末にて、属性特定ステップにより特定した車両の属性に関する属性情報を表示する第１表示ステップと、
特定した属性情報に基づき、車両に関する価格を算定する価格算定ステップと、
を有し、
算定した価格を販売者端末及び／又は購入者端末にて表示する、
販売支援方法。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、販売活動を支援する販売支援システム及び販売支援方法に関する。
【背景技術】
【０００２】
従来、インターネット上で中古品販売の取引が行われている。中古品の取引では、購入者に商品に関する情報を提供するため、販売する商品に関する写真や動画などを用意する必要があり、出品に際する負担が大きい。例えば、中古車を販売する車販売業者が利用しやすい中古車販売支援システムとして、特許文献１が開示されている。また、例えば、自動車の管理履歴を一元管理し、簡便に自動車の売買を実行することができる自動車売買支援システムとして、特許文献２が開示されている。しかしながら、いずれも出品に際して、販売業者が販売する中古車の情報を全て入力するものであり、販売業者の登録に際する負担について何ら考慮されたものではなかった。販売業者は売買が成立しない可能性のある商品も、売買が成立する可能性のある商品も、出品に際して同様の準備が必要であるため、簡便に商品を出品できるシステムが求められている。また、販売者及び購入者にとって、利用しやすい販売支援システムが求められている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【文献】特開２０１８－１８３７５号公報
【文献】特開２０２１－１７７３８４号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
本発明は、このような課題を解決するためになされたものである。すなわち、本発明の第一の目的は、簡便に商品についての情報を、商品の購入を希望する購入者へ伝えることのできる販売支援システムを提供することである。本発明の第二の目的は、販売者にとって、利用しやすい販売支援システムを提供することである。本発明の第三の目的は、購入者にとって、利用しやすい販売支援システムを提供することである。
【課題を解決するための手段】
【０００５】

本発明の課題は、
［１］商品を販売する販売者が操作する販売者端末と、商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムであって、販売者端末にて、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、入力を受け付けた識別情報をもとに商品の属性を特定する属性特定手段と、購入者端末にて、属性特定手段により特定した商品の属性に関する属性情報を表示する第１表示手段とを備える、販売支援システム；
［２］購入者端末にて、前記商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける、又は、前記商品に関する追加情報の表示要求を受け付ける第２入力受付手段と販売者端末へ、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報を送信する第１情報送信手段とを備える、前記［１］に記載の販売支援システム；
［３］販売者端末にて、前記商品に関する追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段と、購入者端末へ、追加情報の入力を受け付けた旨の情報を送信する第２情報送信手段とを備える、前記［１］又は［２］に記載の販売支援システム；
［４］第１情報送信手段が、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報とともに、前記商品に関する追加情報の入力のための情報を送信する、前記［３］に記載の販売支援システム；
［５］販売者端末にて、前記商品に関する追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段と、入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする閲覧可能化手段とを備える、前記［１］～［４］のいずれかに記載の販売支援システム。
［６］第１表示手段が、商品の価格に関する価格情報を表示する、前記［１］～［５］のいずれかに記載の販売支援システム；
［７］商品が車両であり、識別情報が、車検証及び／又は車両識別番号に関する情報である、前記［１］～［６］のいずれかに記載の販売支援システム；
［８］商品を販売する販売者が操作する販売者端末と、商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムにおけるサーバ装置であって、販売者端末から、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受信する第１入力受信手段と、入力を受け付けた識別情報をもとに商品の属性を特定する属性特定手段と、属性特定手段により特定した商品の属性に関する属性情報を、購入者端末に送信する第１送信手段とを備える、サーバ装置；
［９］商品を販売する販売者が操作する販売者端末と、商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムにおける販売者端末であって、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受け付ける第１入力受付手段を備え、販売支援システムが、入力を受け付けた識別情報をもとに商品の属性を特定する属性特定手段と、購入者端末にて、属性特定手段により特定した商品の属性に関する属性情報を表示する第１表示手段とを備える、販売者端末；
［１０］商品を販売する販売者が操作する販売者端末と、商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムにおける購入者端末であって、商品の属性に関する属性情報を表示する第１表示手段を備え、販売支援システムが、販売者端末にて、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、入力を受け付けた識別情報をもとに商品の属性を特定する属性特定手段とを備え、第１表示手段において表示される属性情報が、属性特定手段により特定したものである、購入者端末；
［１１］商品を販売する販売者が操作する販売者端末と、商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末とを備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、販売者端末にて、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受け付ける第１入力受付ステップと、入力を受け付けた識別情報をもとに商品の属性を特定する属性特定ステップ

と、購入者端末にて、属性特定ステップにより特定した商品の属性に関する属性情報を表示する第１表示ステップとを有する、販売支援方法；
［１２］商品を販売する販売者が操作する販売者端末及び商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末を備える販売支援システムであって、販売者端末にて、商品に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、入力を受け付けた商品に関する情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第１閲覧可能化手段と、購入者端末にて、前記商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける、又は、前記商品に関する情報と異なる商品に関する追加情報の表示要求を受け付ける第２入力受付手段と、販売者端末にて、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすことを示す追加情報送信要求を受信する追加情報送信要求受信手段と、販売者端末にて、追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段と、前記商品に関する情報と、入力を受け付けた追加情報を関連付けて記憶する追加情報記憶手段と入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第２閲覧可能化手段とを備え、追加情報送信要求受信手段により追加情報送信要求を受信した後に、第３入力受付手段により、追加情報の入力を受け付ける、販売支援システム；
［１３］
商品を販売する販売者が操作する販売者端末及び商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末を備える販売支援システムにおけるサーバ装置であって、販売者端末から、商品に関する情報の入力を受信する第１入力受信手段と、入力を受け付けた商品に関する情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第１閲覧可能化手段と、購入者端末から、前記商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受信する、又は、前記商品に関する追加情報の表示要求を受信する第２入力受信手段と、販売者端末に、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすことを示す追加情報送信要求を送信する追加情報送信要求送信手段と、販売者端末から、追加情報の入力を受信する第３入力受信手段と、前記商品に関する情報と、入力を受け付けた追加情報を関連付けて記憶する追加情報記憶手段と入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第２閲覧可能化手段とを備え、追加情報送信要求送信手段により追加情報送信要求を送信した後に、第３入力受信手段により、追加情報の入力を受信する、サーバ装置；
［１４］商品を販売する販売者が操作する販売者端末及び商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末を備える販売支援システムにおける販売者端末であって、商品に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付手段と、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、前記商品に関する追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすことを示す追加情報送信要求を受信する追加情報送信要求受信手段と、追加情報の入力を受け付ける第３入力受付手段とを備え、販売支援システムが、入力を受け付けた商品に関する情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第１閲覧可能化手段と、購入者端末にて、前記商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける、又は、追加情報の表示要求を受け付ける第２入力受付手段と、前記商品に関する情報と、入力を受け付けた追加情報を関連付けて記憶する追加情報記憶手段と入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第２閲覧可能化手段とを備え、追加情報送信要求受信手段により追加情報送信要求を受信した後に、第３入力受付手段により、追加情報の入力を受け付ける、販売者端末；
［１５］商品を販売する販売者が操作する販売者端末及び商品の購入を希望する購入者が操作する購入者端末を備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、販売者端末にて、商品に関する情報の入力を受け付ける第１入力受付ステップと、入力を受け付けた商品に関する情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第１

閲覧可能化ステップと、購入者端末にて、前記商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける、又は、前記商品に関する追加情報の表示要求を受け付ける第２入力受付ステップと、販売者端末にて、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすことを示す追加情報送信要求を受信する追加情報送信要求受信ステップと、販売者端末にて、追加情報の入力を受け付ける第３入力受付ステップと、前記商品に関する情報と、入力を受け付けた追加情報を関連付けて記憶する追加情報記憶ステップと入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とする第２閲覧可能化ステップとを有し、追加情報送信要求受信ステップにより追加情報送信要求を受信した後に、第３入力受付ステップにより、追加情報の入力を受け付ける、販売支援方法；

［１６］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムであって、販売予定の商品の販売者による仕入時及び仕入価格の入力を受け付ける第４入力受付手段と、商品の仕入時及び仕入価格をもとに、商品の価格を決定するための参考となる価格を算定する価格算定手段とを備える、販売支援システム；

［１７］商品の仕入時及び仕入価格の入力を受け付けた後、時間の経過により価格算定手段により算定される価格に変化があった場合に、変化があったことをコンピュータ装置へ通知する変化通知手段とを備える、前記［１６］に記載の販売支援システム；

［１８］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、販売予定の商品の仕入時及び仕入価格の入力を受け付ける第４入力受付ステップと、商品の仕入時及び仕入価格をもとに、商品の価格を決定するための参考となる価格を算定する価格算定ステップとを有する、販売支援方法；

［１９］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムであって、商品の販売をする販売者が、商品の基準となる価格よりも低い価格で、商品の購入を希望する購入者に、商品を販売した場合に、販売者に特典を付与するための特典情報を記憶する特典情報記憶手段を備える、販売支援システム；

［２０］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、商品の販売をする販売者が、商品の仕入価格よりも低い価格で、商品の購入を希望する購入者に、商品を販売した場合に、販売者に特典を付与するための特典情報を記憶する特典情報記憶ステップを有する、販売支援方法；

［２１］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムであって、車両の車検証及び／又は車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第５入力受付手段と、車検証及び／又は車両識別番号に関する情報をもとに輸送費を算定する輸送費算定手段とを備える、販売支援システム；

［２２］車両の販売をする販売者が操作する販売者端末を備え、輸送費算定手段が、販売者が負担すべき輸送費を算定することができるものであり、販売者端末にて、算定された販売者が負担すべき輸送費を表示する第２表示手段を備える、前記［２１］に記載の販売支援システム；

［２３］販売予定の車両の販売者による仕入時及び仕入価格の入力を受け付ける第６入力受付手段と、車両の仕入時及び仕入価格をもとに、車両の価格を決定するための参考となる価格を算定する価格算定手段と、販売者端末にて、算定された参考となる価格を表示する第３表示手段とを備える、前記［２１］又は［２２］に記載の販売支援システム；

［２４］車両の購入を希望する購入者が操作する購入者端末を備え、輸送費算定手段が、購入者が負担すべき輸送費を算定することができるものであり、車検証及び／又は車台番号に関する情報をもとに車両の属性を特定する属性特定手段と、購入者端末にて、特定した車両の属性に関する属性情報、及び、算定された購入者が負担すべき輸送費を表示する第４表示手段とを備える、前記［２１］～［２３］のいずれかに記載の販売支援システム；

［２５］少なくとも１のコンピュータ装置を備える販売支援システムにおいて実行される販売支援方法であって、車両の車検証及び／又は車両識別番号に関する情報の入力を受け付ける第５入力受付ステップと、車検証及び／又は車両識別番号に関する情報をもとに輸

送費を算定する輸送費算定ステップとを有する、販売支援方法；
により達成することができる。
【発明の効果】
【０００６】
本発明によれば、簡便に商品についての情報を、商品の購入を希望する購入者へ伝えることのできる販売支援システムを提供することができる。また、本発明によれば、販売者にとって、利用しやすい販売支援システムを提供することができる。また、本発明によれば、購入者にとって、利用しやすい販売支援システムを提供することができる。
【図面の簡単な説明】
【０００７】
【図１】本発明の実施の形態に係る販売支援システムの構成を示すブロック図である。
【図２】本発明の実施の形態に係る販売者端末の構成を示すブロック図である。
【図３】本発明の実施の形態に係るサーバ装置の構成を示すブロック図である。
【図４】本発明の実施の形態に係る販売支援処理のフローチャートを示す図である。
【図５】本発明の実施の形態に係る簡易登録処理のフローチャートを示す図である。
【図６】本発明の実施の形態に係る第１算定処理のフローチャートを示す図である。
【図７】本発明の実施の形態に係る第２算定処理のフローチャートを示す図である。
【図８】本発明の実施の形態に係る通知処理のフローチャートを示す図である。
【図９】本発明の実施の形態に係る第３算定処理のフローチャートを示す図である。
【図１０】本発明の実施の形態に係る追加登録処理のフローチャートを示す図である。
【図１１】本発明の実施の形態に係る購入処理のフローチャートを示す図である。
【発明を実施するための形態】
【０００８】
以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明をするが、本発明の趣旨に反しない限り、本発明は以下の実施の形態に限定されない。以下、効果に関する記載は、本発明の実施の形態の効果の一側面であり、ここに記載するものに限定されない。
【０００９】
本発明の販売支援システムは、中古車等の移動体や中古物品等の動産の取引をはじめ、中古マンション等の不動産の取引や、サービス自体の取引等に活用できる。中古物品としては、例えば、工業用製品、ジェネレーター（発電機）、書籍、家電、被服、家具、コスメ、貴金属、文房具、パソコン周辺機器、ゲームソフト、ＤＶＤ等があげられる。以下では、主に、販売者が中古車販売サービスを利用する場合について説明をするが、例えば、自動車などの車両だけでなく、自転車等の軽車両、フォークリフト、ユンボ、ホイールローダー等の建設機械、トラクター等の農耕作業機械、フェリー、貨物船などの船舶などに適用することができる。取引の対象となる物品を総じて商品と呼ぶ。
【００１０】
図１は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムの構成を示すブロック図である。図示するように、販売支援システムは、販売者端末１と、サーバ装置２と、購入者端末３と、通信ネットワーク４とから構成されている。中古車等の販売店などの販売者により操作される販売者端末１は、通信ネットワーク４を介してサーバ装置２と通信接続が可能である。また、販売支援システムは、複数の異なる販売者により操作される複数の販売者端末から構成されていてもよい。なお、ここでいう販売者は、商品を販売する意思を有する者のことを指し、実際の商品の販売実績は問わない。
【００１１】
また、購入者により操作される購入者端末３は、通信ネットワーク４を介してサーバ装置２と通信接続が可能である。また、販売支援システムは、複数の異なる購入者により操作される複数の購入者端末３から構成されていてもよい。なお、ここでいう購入者は、商品を購入する意思を有する者のことを指し、実際の商品の購入実績は問わない。
【００１２】
販売者端末１及び購入者端末３は、表示画面と入力部を有するコンピュータ装置であれ

ば特に限定されない。販売者端末１及び購入者端末３は、据え置き型で会社のオフィス等に設置されたものでもよく、携帯型で使用者が移動する際に携帯することができるものであってもよい。販売者端末１及び購入者端末３としては、例えば、従来型の携帯電話、タブレット型端末、スマートフォン、デスクトップ型・ノート型のパーソナルコンピュータなどが挙げられる。また、図示しないが、販売支援システムは、販売者と購入者を仲介する仲介者が操作する管理者端末を有していてもよい。管理者は、販売支援システムの運営や売買された中古車の輸送に係る業務等を請け負う。

【００１３】

図２は、本発明の実施の形態に係る販売者端末の構成を示すブロック図である。販売者端末１は、制御部１１、メインメモリ１２、ストレージ部１３、入力装置１４、表示装置１５及び通信インタフェース１６を備え、それぞれバスにより接続されている。

【００１４】

制御部１１は、ＣＰＵやＲＯＭから構成される。制御部１１は、ストレージ部１３に格納されたプログラムを実行し、販売者端末１の制御を行なう。メインメモリ１２としては、例えばＲＡＭが用いられる。メインメモリ１２は、制御部１１のワークエリアである。ストレージ部１３は、プログラムやデータを保存するための記憶領域である。制御部１１は、メインメモリ１２から読みだしたプログラム及びデータ、並びに、入力装置１４にて入力されたデータをもとに、演算処理を行なう。

【００１５】

表示装置１５は表示画面を有している。制御部１１は、演算処理の結果に応じて、表示画面に画像を表示するためのビデオ信号を出力する。ここで、表示画面はタッチセンサを備えるタッチパネルであってもよい。この場合、タッチパネルが入力装置１４として機能する。また、販売者端末１は、カメラを備え、カメラを入力装置１４として機能させることができる。

【００１６】

通信インタフェース１６は無線又は有線により通信ネットワーク４に接続が可能であり、通信ネットワーク４を介して、サーバ装置２又は購入者端末３とデータを送受信することが可能である。通信インタフェース１６を介して受信したデータは、メインメモリ１２にロードされ、制御部１１により演算処理が行われる。

【００１７】

購入者端末３は、販売者端末１と同様の構成を有するものであり、例えば、制御部、メインメモリ、ストレージ部、入力装置、表示装置、通信インタフェースを備え、それぞれ内部バスにより接続されている。

【００１８】

図３は、本発明の実施の形態に係るサーバ装置の構成を示すブロック図である。サーバ装置２は、制御部２１、メインメモリ２２、ストレージ部２３及び通信インタフェース２４を備え、それぞれバスにより接続されている。

【００１９】

制御部２１は、ＣＰＵやＲＯＭから構成され、ストレージ部２３に格納されたプログラムを実行し、サーバ装置２の制御を行う。また、制御部２１は時間を計時する内部タイマを備えている。メインメモリ２２は、制御部２１のワークエリアである。ストレージ部２３は、プログラムやデータを保存するための記憶領域である。制御部２１は、プログラム及びデータをメインメモリ２２から読み出し、販売者端末１又は購入者端末３から受信した情報等をもとに、演算処理を行う。

【００２０】

また、本発明の実施の形態では、サーバ装置２に代えて、ブロックチェーンによる分散型台帳技術を採用してもよい。つまり、本発明の販売支援システムにおける各種情報を、分散型台帳技術を用いて管理してもよい。ブロックチェーンネットワークはプライベートネットワークとして構築してもよいし、パブリックネットワークとして構築してもよい。分散台帳技術による情報管理により、情報の信頼性を保持し、商品のトレーサビリティを

確保することができる。
【００２１】
［販売支援処理］
まず、販売支援システムにおける販売支援処理について、説明する。図４は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける販売支援処理のフローチャートを示す図である。なお、フローチャートに含まれる各処理の詳細については後述する。また、以下のフローチャートを構成する各処理の順序は、特に限定されず、適宜設計可能であり、処理内容に矛盾や不整合が生じない範囲で順不同である。また、フローチャートを構成する各処理の一部が実行されなくともよい。
【００２２】
まず、販売者は、Ｗｅｂブラウザを経由してサーバ装置２にアクセスすることで、販売支援システムにログインをする。販売者は、販売者端末１にダウンロードされたアプリケーションプログラム（以下、専用アプリという）を起動し、サーバ装置２へアクセスすることで、販売支援システムにログインしてもよい。そして、販売に係る車両の簡易登録情報を登録する簡易登録処理を行う（ステップＳ１）。簡易登録情報を登録することを、簡易登録ともいう。簡易登録がなされると、商品の出品が完了し、販売支援システムを利用する販売者端末１、購入者端末３、及び管理者端末にて、簡易登録情報を閲覧することができる。つまり、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて簡易登録情報を閲覧できる。簡易登録処理では、販売者が、車検証に記載される車台番号を、識別番号として入力する。販売者は販売に係る車両の販売予定価格を入力してもよい。また、簡易登録処理において、販売に係る車両の帳簿価額を算定する第１算定処理、及び／又は、販売者が負担する輸送費を算定する第２算定処理を行ってもよい。本発明の実施の形態において、「簡易登録情報」とは、商品の出品における簡易登録において必要な情報、及び簡易登録において登録された情報をいう。簡易登録情報は、車両情報及び価格情報を含む。簡易登録において必要な情報は、管理者によって設定されることが好ましい。「価格情報」とは、販売者が車両の販売予定価格として入力した情報である。
【００２３】
ここで、本発明の実施の形態において、販売に係る車両の価格を決定するための参考となる価格を「第１価格」という。車両の価格を決定するための参考となる価格は、帳簿に計上された資産の価額であり、帳簿上価格、又は資産計上価格のことを指す。また、帳簿上価格、又は資産計上価格は、車両の帳簿価額、帳簿価格、又は簿価ともいう。仕入れ価格から減価償却等を計上することで、計算時点における車両の価値を評価することができる。また、販売者が負担する輸送費を「第２価格」という。また、購入者が負担する輸送費を「第３価格」という。一般的に、販売者が販売する中古車を海外へ輸送するとき、中古車を自国の港湾まで輸送する輸送費は販売者が負担し、自国の港湾から海外の購入者の引き取り場所までの輸送費は購入者が負担する。そのため、本実施の形態において、中古車を自国の港湾まで輸送する輸送費を「第２価格」、自国の港湾から海外の購入者の引き取り場所までの輸送費を「第３価格」としているが、「第２価格」及び「第３価格」はこれに限らず、適宜変更してもよい。輸送費を購入者が負担するときは、「第３価格」のみが発生する。また、契約に応じて、輸送費を販売者が負担するときは「第２価格」が発生する。
【００２４】
ステップＳ１の処理が行われると、通知処理が実行される（ステップＳ２）。簡易登録処理が実行されると、購入者が購入者端末３にて、車両の簡易登録情報を表示する。このとき、第３算定処理を行い、購入者端末３に第３価格を表示させてもよい。購入者が該車両の購入を希望する場合、又は、該車両の追加情報の閲覧を希望する場合、その旨を購入者端末３にて入力する。その旨をサーバ装置２にて受信すると、サーバ装置２から販売者端末１に通知が送信され、販売者端末１にて、購入者から、該車両の購入を希望する旨、又は、該車両の追加情報の閲覧を希望する旨が入力されたことが通知される。なお、該車

両の購入を希望する旨を商品の購入の意思に関する意思情報といい、該車両の購入を希望する旨を商品に関する追加情報の表示要求という。また、以下では、該車両の購入を希望する旨、及び／又は、該車両の追加情報の閲覧を希望する旨を、追加情報送信要求という。追加情報送信要求は、商品である車両の購入の意思決定に必要な情報を送信するように販売者に対して要求するものともいえる。追加情報送信要求は、いわゆる「いいね！」、「お気に入り」、「登録通知を受け取る」、「あとで見る」、「保存」といったボタンを押下することで送信するとしてもよい。これらのボタンを押下した車両について、サーバ装置２又は購入者端末３に保存され、該購入者端末３において、同じ種類のボタンを押下した車両ごとに一覧して表示できるようにしてもよい。

【００２５】

なお、本発明の実施の形態において、通知とは、例えば、販売支援システムに登録されたメールアドレス宛に送信することや、販売支援システムのメッセンジャー機能に通知することである。専用アプリがダウンロードされている場合、専用アプリ内のメッセンジャー機能に通知されると、販売者端末１又は購入者端末３にインストールされた専用アプリのアイコンに、通知を受信したことがわかる表示をしてもよい。

【００２６】

ステップＳ２にて、通知を受け取った販売者は、該車両について、追加情報の入力を行うことで、追加登録処理を行う（ステップＳ３）。販売者端末１にて、該車両についての追加情報の入力を受付け、サーバ装置２に送信されると、サーバ装置２にて追加情報が登録される。追加情報を登録することを、追加登録ともいう。そして、サーバ装置２から追加情報送信要求を送信した購入者端末３に、追加情報が登録された旨の通知を送信する。通知を受けた購入者端末３から、登録された追加情報を閲覧することができる。また、販売支援システムを利用する販売者端末１、購入者端末３、及び管理者端末にて、追加情報を閲覧することができる。つまり、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて追加情報を閲覧できる。「追加情報」とは、簡易登録された商品に関する簡易登録情報とは異なる情報であり、商品の出品における追加登録において必要な情報、及び追加登録において登録された情報をいう。また、追加情報は、例えば、商品に関する情報であって、後述の識別情報から特定される商品の属性情報とは異なる属性情報ともいえる。追加情報は、商品の詳細な情報ともいえる。追加登録において必要な情報は、管理者によって設定されることが好ましい。なお、簡易登録された商品を、仮の状態で出品された商品として扱い、追加登録がされた商品を正式に出品された商品としてもよい。

【００２７】

購入者が所定の車両を購入する場合、購入処理が実行される（ステップＳ４）。購入者端末３にて、購入する車両の選択を受け付けると、サーバ装置２へ購入要求が送信される。サーバ装置２より、販売者端末１及び管理者端末へ購入通知が送信され、また、請求情報を購入者端末３へ送信する。購入者が支払いを実行すると、その旨が、販売者端末１及び管理者端末に通知され、車両の購入に関する手続きが進められる。

【００２８】

これら、ステップＳ１～Ｓ４により、販売支援処理は終了する。なお、販売者は、ステップＳ２の通知処理を省略して、ステップＳ３以降の処理を実行してもよい。また、ステップＳ１の処理の後、直ちにステップＳ３の処理を実行してもよい。また、購入者は、ステップＳ３の処理、ステップＳ１及びステップＳ２の処理、又は、ステップＳ２及びＳ３の処理を省略して、ステップＳ４の購入処理を実行してもよい。また、ステップＳ２の処理は、ステップＳ３の後にさらに実行してもよいし、ステップＳ２とＳ３の順番を入れ替えて実行してもよい。

【００２９】

［簡易登録処理］

次に、販売支援システムにおける簡易登録処理（ステップＳ１）について、説明する。図５は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける簡易登録処理のフローチャ

ートを示す図である。まず、販売支援システムに中古車の出品を希望する販売者は、販売者端末１より、Ｗｅｂブラウザを経由してサーバ装置２にアクセスすることで、販売支援システムにログインをする。販売支援システムは、販売者端末１にダウンロードされた専用アプリを起動させ、サーバ装置２にアクセスすることで、販売支援システムにログインしてもよい。

【００３０】

次に、販売者は、出品する中古車の車検証に記載された車台番号（車体番号、フレームナンバーともいう）を識別番号として販売者端末１に入力する（ステップＳ１１）。車台番号とは、原動機付自転車及び自動車の車台部分に打刻される、車両に固有の識別番号である。車台番号は、車検証に記載される。販売者は、車検証に記載された車台番号を販売者端末１のカメラより撮影し、ＯＣＲ（Ｏｐｔｉｃａｌ Ｃｈａｒａｃｔｅｒ Ｒｅｃｏｇｎｉｔｉｏｎ）により、車台番号を文字及び数字として取り込むことができる。また、販売者は、車両のフレームに打刻してある車台番号を、カメラより撮影し、ＯＣＲにより、識別番号を表す文字及び数字として取り込むことができる。また、販売者は、販売者端末１に車台番号を直接入力してもよい。例えば、キーボード又はソフトウェアキーボードにより直接入力できる。また、車検証がＩＣカードであれば、カードリーダーを用いて、車台番号を読み取ってもよい。ここで、本実施の形態においては車台番号を具体例として説明をしたが、車台番号に限られるものではなく、ある車両に固有の識別番号であって、車両を特定する機能を有するものであれば足りる。例えば、ＶＩＮ（Ｖｅｈｉｃｌｅ Ｉｄｅｎｔｉｆｉｃａｔｉｏｎ Ｎｕｍｂｅｒ、シリアルナンバーともいう）を識別番号として用いることができる。本実施の形態において、車台番号やＶＩＮのように、車両の属性を特定可能な機能を有する識別番号のことを、識別情報、車両識別番号又は移動体識別番号という。車両識別番号又は移動体識別番号は、移動体に固有の識別番号で、移動体のいずれかの部分に記録されている。例えば、移動体のフレームへの打刻や、エンジンコントロールユニット（ＥＣＵ）等の移動体内のコンピュータ装置への記憶処理により、記録されている。

【００３１】

次に、第１算定処理及び／又は第２算定処理を行い（ステップＳ１２）、販売者端末１にて、第１価格及び／又は第２価格を表示する（ステップＳ１３）。ここで、第１価格は、販売に係る車両の帳簿価額であり、第２価格は、販売者が負担する輸送費であるので、販売者はそれらの価格をもとに、出品する車両の販売予定価格を決定することができる。販売者が、販売者端末１に、該車両の販売予定価格を入力すると（ステップＳ１４）、販売者端末１からサーバ装置２に車両の識別番号と販売予定価格が送信される（ステップＳ１５）。サーバ装置２にて、車両の識別番号と販売予定価格が受信される（ステップＳ１６）。

【００３２】

サーバ装置２にて、ステップＳ１６にて受信した識別番号をもとに、車両情報を特定する（ステップＳ１７）。特定された車両情報及び販売予定価格を簡易登録情報として、登録する（ステップＳ１８）。ステップＳ１１～Ｓ１８の処理をとおして、簡易登録処理は終了する。なお、簡易登録処理は、ステップＳ１２～１４の処理を省略してもよい。

【００３３】

簡易登録情報が登録されると、該車両は、販売支援システムにおいて、出品された商品として扱われる。つまり、登録された簡易登録情報は、出品された商品情報として扱われる。出品された商品情報は、販売支援システムを利用する販売者、購入者、又は管理者が操作する全ての端末にて閲覧できる。つまり、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて商品情報を閲覧できる。「商品情報」とは、出品された商品に関する情報であり、簡易登録情報及び／又は追加情報を有する。販売者、購入者、及び管理者は、登録された該車両の簡易登録情報を閲覧することができる。なお、ステップＳ１４で入力した販売予定価格は、販売を予定する価格であり、実際に販売する価格と異なるものでもよい。

また、簡易登録処理を実行した後に、編集や修正をしてもよい。簡易登録情報も同様に、簡易登録処理を実行した後に、編集や修正をできるような構成としてもよいし、識別番号により特定された情報は変更不可としてもよい。

【００３４】

ステップＳ１７の車両情報の特定では、車両の車台番号を用いて、車両情報として車両の属性情報を特定する。車両の属性情報とは、例えば、車種、グレード、車両の全長、全幅、全高、最低地上高、製造年、生産国、製造メーカ、ハンドルの位置、外装色、エンジンの排気量等の車両に関する情報をいう。車台番号は、一定の規則に則って定められており、上述の車両の属性情報を含む。そのため、サーバ装置２に、予め車台番号から車両の属性情報を特定させるためのデータベースを記憶させておく。例えば、車台番号の１桁目は生産国を示し、２桁目は製造メーカを示す。よって、データベースには、１桁目が「１」であれば「アメリカ」、「２」であれば「カナダ」といった、車台番号と車台番号により特定される車両の属性情報との関係を関連付けて記憶させる。車台番号と車台番号に含まれる車両の属性情報とを関連付けて記憶させるともいう。

【００３５】

したがって、車台番号から車種、グレード、車両の全長、全幅、全高、最低地上高、製造年、生産国、製造メーカ、ハンドルの位置、外装色、エンジンの排気量等の車両の属性情報が特定でき、これらの情報をステップＳ１８において、簡易登録情報として登録する。なお、算定された第１価格及び／又は第２価格は、車両情報として関連付けて記憶されてもよいが、簡易登録情報として、一般に公開されないことが好ましい。

【００３６】

なお、「属性情報」とは、商品の属性を示す情報である。属性情報は、識別番号に関連付けて記憶されていてもよい。「車両情報」とは、車両に関する情報のことをいう。車両情報は、車両の属性情報を含み、車両の画像を含んでいてもよい。なお、車両の画像は、販売支援システムにおいて出品された商品のサムネイル画像として表示することができる。また、車両の属性情報のうち、簡易登録に必要な属性情報としては、例えば、車種、グレード、製造年、ハンドルの位置、及び外装色等が挙げられる。また、後述の第２算定処理、第３算定処理の価格算定に必要な属性情報としては、例えば、車両の全長、全高、及び最低地上高等が挙げられる。

【００３７】

なお、ステップＳ１１において、実際の車両のフレームに打刻してある車台番号を、カメラより撮影した場合、ステップＳ１８において、車両の所有者の本人確認を完了することとしてもよい。車台番号は、車両の外から見えにくい位置に打刻されている。そのため、車台番号を撮影するためには、ボンネットを開けたり、キーでドアを開けてシートの下をめくったりする必要がある。このことから、車台番号を撮影できるのは、車両の所有者と判断できるからである。また、ステップＳ１１において、車検証から車台番号を入力した場合、ステップＳ１８において、車検証に記録されている車両の所有者の情報等を、サーバ装置２に記憶してもよい。

【００３８】

上述のように、販売者は、車両の識別番号や販売予定価格の入力をするだけで、出品する車両の具体的な属性情報を入力することを省略して、販売支援システムに該車両を商品として出品ができるため、販売に際して、商品の出品のハードルが下がる。なお、識別番号による車両の属性情報の特定は、販売者端末、購入者端末、サーバ装置のいずれでも実行できる。

【００３９】

［第１算定処理］

次に、販売支援システムにおける第１算定処理（ステップＳ１２）について、説明する。図６は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける第１算定処理のフローチャートを示す図である。

【００４０】

販売者は、簡易登録処理を行っている車両について、仕入れをした年（仕入時ともいう）及び仕入れ価格を、販売者端末１に入力する（ステップＳ２１）。このとき、耐用年数を入力することが好ましい。販売者端末１より、サーバ装置２に仕入時及び仕入れ価格が送信され（ステップＳ２２）、サーバ装置２にて仕入時及び仕入れ価格を受信する（ステップＳ２３）。サーバ装置２において、第１価格が算定される（ステップＳ２４）。算定された第１価格は、サーバ装置２から販売者端末１に送信され（ステップＳ２５）、販売者端末１にて第１価格を受信する（ステップＳ２６）。ステップＳ２１～Ｓ２６の処理をとおして、第１算定処理は終了する。

【００４１】

ステップＳ２４の第１価格の算定は、一般的な減価償却の費用算定にて用いられる定額法又は定率法の計算式を予めサーバ装置２に記憶させておき、算定を行う。具体的には、定額法は、毎年の償却費の額が原則として毎年同額として第１価格の算定を行う。仕入れ価格と定額法の償却率を乗算することで第１価格を求められる。定額法は、未償却残高に定率法の償却率を乗算することで第１価格を求められる。ステップＳ２１の入力の際に、定額法又は定率法のいずれかを選択してもよいし、いずれかの計算を行うかを予めサーバ装置２に登録しておいてもよい。また、車両に係る税金について、算定するための計算式をサーバ装置２に記憶させておき、定額法又は定率法により算定された価格に、税金を加算又は減算した価格を第１価格とする構成としてもよい。

【００４２】

算定された第１価格は、サーバ装置２に記憶されることが好ましい。また、時間の経過により、第１算定処理にて算定される価格に変化があった場合に、変化があったことを第１価格の算定を行った販売者端末１に通知する構成としてもよい。通知を受けた販売者端末１を操作する販売者は、再度第１算定処理を実行し、第１価格を参考にして販売予定価格を編集できる。また、該通知において、変化した第１価格を表示できるとしてもよい。

【００４３】

ステップＳ１３において、算定した第１価格を表示することで、販売者は仕入価格よりも低い価格であっても納得して販売予定価格の値決めをすることができる。また、減価償却を反映した帳簿価額である第１価格を容易に確認することができ、適正な販売予定価格を入力することができる。

【００４４】

なお、識別番号により特定された車両の属性情報から、販売支援システムに簡易登録及び／又は追加登録されている、同じ又は類似の属性情報を有する車両の価格を複数抽出し、それらの平均価格を参考価格として表示してもよい。また、販売支援システムに簡易登録及び／又は追加登録されている、同じ又は類似の属性情報を有する車両の取引実績を抽出し、それらの平均価格を売買が成立する可能性の高い販売価格として表示してもよい。さらに、表示された参考価格等から、販売者が入力した販売予定価格が所定の金額よりも高い又は低い場合、ステップ１５の送信の前に、販売者に金額の確認を促す表示を販売者端末１に表示してもよい。参考価格等は、購入者端末３にて表示するとしてもよい。簡易登録情報や追加情報を閲覧している車両について、上述のように参考価格等を表示できる。

【００４５】

［第２算定処理］

次に、販売支援システムにおける第２算定処理（ステップＳ１２）について、説明する。図７は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける第２算定処理のフローチャートを示す図である。なお、上述の処理と同様の処理は適宜省略する場合がある。以下では、主に日本国内の販売者が、車両を販売する形態を説明する。

【００４６】

販売者は、簡易登録処理を行っている車両について、出発地及び到着地を、販売者端末１に入力する（ステップＳ３１）。出発地は、中古車を販売したときに、車両を発送する発送地である。都道府県名や地方名を入力してもよいし、具体的な店舗の住所を入力してもよい。到着地は、中古車を販売したときに、車両が納品される到着地である。第２価格

は、販売者が負担する輸送費であるので、到着地として海外が想定される場合、到着地については日本国内の港湾を選択すればよい。つまり、第２算定処理における到着地は、出発地から最も近い港湾が自動的に入力されてもよいし、購入者が任意の港湾を選択してもよい。また、出発地及び到着地のほかに、経由地点を選択してもよい。なお、到着地として国内が想定される場合、第２算定処理は省略してもよいし、任意の到着地を入力して第２価格の算定をしてもよいし、出発地から最も遠い国内の到着地が入力され、輸送に係る最大の費用を算定するとしてもよい。

【００４７】

販売者端末１より、サーバ装置２に出発地及び到着地が送信され（ステップＳ３２）、サーバ装置２にて出発地及び到着地を受信する（ステップＳ３３）。サーバ装置２において、簡易登録処理にて入力された識別番号から、車両情報の特定がなされ（ステップＳ３４）、第２価格が算定される（ステップＳ３５）。算定された第２価格は、サーバ装置２から販売者端末１に送信され（ステップＳ３６）、販売者端末１にて第２価格を受信する（ステップＳ３７）。ステップＳ３１～Ｓ３７の処理をとおして、第２算定処理は終了する。

【００４８】

ステップＳ３５は、特定された車両情報から求められる車両の大きさと出発地から到着地までの距離から、第２価格の算定を行う。車両の大きさとしては、例えば、車両の全長、全高、最低地上高等があげられる。車両の大きさと距離による輸送費を関連付けて予めサーバ装置２に記憶させておくことで、第２価格を算定することができる。なお、第２価格の算定に用いられる車両の大きさは、追加登録処理において登録した情報を用いてもよい。つまり、第２価格は、属性情報及び／又は追加情報から特定される車両の大きさと、販売者及び／又は購入者の出発地及び到着地の入力から特定される輸送距離に基づいて、算出される。

【００４９】

具体的には、車両の全長が４．５０ｍの場合、１０ｋｍあたり１６００円の輸送費として記憶させておく。識別番号から特定された車両の全長が４．５０ｍであり、出発地が東京で到着地が大阪のとき、算定される第２価格は、６４０００円となる。出発地から到着地までの距離は、サーバ装置２に記憶させたデータベースから特定できる。他の地図アプリケーションと連動させて、距離を特定してもよい。出発地から到着地までの距離は、出発地から到着地までの直線距離でもよいし、実際の輸送ルートを考慮するものであってもよい。また、海路を用いる場合、出発する港湾から到着する港湾までのルートを考慮して距離を算出するのが好ましい。

【００５０】

また、車両の大きさと距離による輸送費は、さらに、輸送方法に関連付けてサーバ装置２に記憶させてもよい。輸送方法としては、例えば、陸路、海路、又は空路があげられる。入力された出発地から到着地までの輸送方法が、陸路、海路、若しくは、空路であるか、又は、これらの組み合わせであるか特定されることが好ましい。入力された出発地から到着地までの経路について、出発地からＡ地点までは陸路、Ａ地点からＢ地点までは海路、Ｂ地点から到着地までは陸路といったように、経路によって輸送方法を特定し、それぞれの経路の距離に応じて、第２価格を算定できる。輸送方法の特定は、例えば、経路中に海が存在する場合、海路を選択し、それ以外の場合は陸路を選択するとして、サーバ装置２に記憶させることができる。また、経路中に海が存在する場合、海路又は空路を選択するか、ステップＳ３１において、販売者に入力させてもよい。出発地、到着地、経由地点の２以上に港湾が入力された場合、港湾から港湾までの輸送方法は海路として特定できる。

【００５１】

なお、実際の輸送費は、販売される車両のオプションによって変動するため、第２価格は、目安の金額として、販売者に対して表示されるのが好ましい。また、ステップＳ３１で中古車のオプションについて入力を促すような表示がなされ、オプションについて入力をしてもよい。

【００５２】
ステップＳ１３において、算定した第２価格を表示することで、販売者は第２価格を参考にして販売予定価格の値決めをすることができる。これにより、予想外の出費を抑えることができる。
【００５３】
［通知処理］
次に、販売支援システムにおける通知処理（ステップＳ２）について、説明する。図８は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける通知処理のフローチャートを示す図である。
【００５４】
車両の購入を希望する購入者は、購入者端末３より、Ｗｅｂブラウザを経由してサーバ装置２にアクセスすることで、販売支援システムにログインをする。上述のとおり、販売支援システムは、購入者端末３にダウンロードされた専用アプリを起動させ、サーバ装置２にアクセスすることで、販売支援システムにログインしてもよい。
【００５５】
簡易登録されている車両の簡易登録情報の閲覧を希望する場合、購入者は購入者端末３を操作し、該中古車の簡易登録情報の送信要求を購入者端末３からサーバ装置２に送信する（ステップＳ４１）。サーバ装置２にて、簡易登録情報の送信要求を受信すると（ステップＳ４２）、該車両の簡易登録情報を特定し（ステップＳ４３）、購入者端末３に該車両の簡易登録情報を送信する（ステップＳ４４）。購入者端末３にて、簡易登録情報を受信すると（ステップＳ４５）、簡易登録情報が表示される（ステップＳ４６）。
【００５６】
次に、第３算定処理を行い（ステップＳ４７）、購入者端末３にて、第３価格を表示する（ステップＳ４８）。購入者が、表示された車両について、該車両の購入を希望する場合や該車両の追加情報の閲覧を希望する場合、購入者端末３にて、追加情報送信要求の入力を受け付ける（ステップＳ４９）。購入者端末３からサーバ装置２に追加情報送信要求が送信され（ステップＳ５０）、サーバ装置２にて、追加情報送信要求が受信される（ステップＳ５１）。ステップＳ５１が行われると、サーバ装置２より販売者端末１に追加情報送信要求の通知が送信され（ステップＳ５２）、販売者端末１にて追加情報送信要求の通知が受信される（ステップＳ５３）。これら、ステップＳ４１～Ｓ５３により、通知処理は終了する。なお、購入者が、表示された車両について購入を希望する場合、上述の処理を省略して、後述のステップＳ８２の処理を実行してもよい。
【００５７】
販売者端末１にて追加情報送信要求の通知が受信されると、販売者は、購入者から追加情報送信要求があった旨を把握できる。ここで、ステップＳ５２のサーバ装置２から販売者端末１への追加情報送信要求の通知の送信は、購入者端末３から追加情報送信要求をサーバ装置２にて受信する都度、実行されてもよいし、複数の購入者端末３から追加情報送信要求をサーバ装置２にて受信したときに実行されてもよい。つまり、サーバ装置２にて、追加情報送信要求を所定の回数受信したときに、サーバ装置２より販売者端末１への追加情報送信要求の通知を送信するとしてもよい。所定の回数は、販売者端末の操作によって適宜設定することができる。また、出品する車両毎に所定の回数を設定してもよい。また、管理者端末の操作によって設定可能としてもよい。また、さらに、サーバ装置２にて、追加情報送信要求を所定の回数受信したときに、後述の追加登録処理を行うように、販売者端末１に通知するとしてもよい。つまり、所定の条件を満たすことで、ステップＳ５２のサーバ装置２から販売者端末１への追加情報送信要求の通知が送信されるとすることができる。
【００５８】
なお、通知処理は、ステップＳ４７～４８の処理を省略してもよい。また、購入者は、ステップＳ４９の追加情報送信要求の入力の際に、購入者への質問や後述の追加登録処理において登録してほしい写真の内容、販売価格の値下げなどのリクエストを併せて入力し

てもよい。また、車両の購入を強く希望する旨や、購入可能性の度合いを記載できるようにしてもよい。該質問やリクエストは、該車両の販売者端末１にのみ通知されるものでもよいし、販売支援システムにおいて、他の販売者、購入者、又は管理者が自由に閲覧できるものとしてもよい。該質問やリクエストは、販売者と購入者が相互にメッセージが送信できるようにチャット形式で表示されてもよい。また、該車両の簡易登録情報又は追加情報が表示されるＷｅｂページにおいて、該車両について、追加情報送信要求が送信された回数を表示してもよい。また、販売者端末１にて、通知を受けた追加情報送信要求を送信した購入者に関して、購入履歴や追加情報送信要求の履歴を閲覧できるようにしてもよい。

【００５９】

購入者は、ステップＳ５３の通知を受信した回数、追加情報送信要求が送信された回数、及び／又は、顧客からのリクエスト等を知ることができるので、出品した車両を販売できる可能性を予測することができる。また、上述の回数、及び／又は顧客からのリクエストに応じて、車両の販売価格を変化させることができる。また、購入者からの要望を知ることができるので、需要の有る写真等の追加情報を効果的に登録することができる。さらに、販売の可能性が低いと判断した車両について、追加情報登録処理（ステップＳ３）を実行しないという判断をすることができる。販売される可能性があるか否かに関わらず、出品する全ての車両について同じ量の情報を登録することは販売者にとっては大きな負担になる。本実施の形態の一態様においては、所有する車両について、一旦簡易登録処理を行い、販売可能性のある車両についてのみ追加情報登録処理を実行できることから、販売者が、より多くの車両を出品するモチベーションにつながる。

【００６０】

［第３算定処理］

次に、販売支援システムにおける第３算定処理（ステップＳ４７）について、説明する。図９は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける第３算定処理のフローチャートを示す図である。なお、上述の処理と同様の処理は適宜省略する場合がある。

【００６１】

購入者は、販売支援システムにて閲覧している車両について、購入するときの到着地を購入者端末３に入力する（ステップＳ６１）。到着地は、購入者が購入した車両を最終的に届けてほしい場所を入力する。到着地としては、国名や地方名が入力されるのが好ましい。購入者端末３より、サーバ装置２に到着地が送信され（ステップＳ６２）、サーバ装置２にて到着地を受信する（ステップＳ６３）。サーバ装置２において、販売支援システムから、車両情報の特定がなされ（ステップＳ６４）、第３価格が算定される（ステップＳ６５）。算定された第３価格は、サーバ装置２から購入者端末３に送信され（ステップＳ６６）、購入者端末３にて第３価格を受信する（ステップＳ６７）。ステップＳ６１～Ｓ６７の処理をとおして、第３算定処理は終了する。

【００６２】

ステップＳ６５では、第２価格の算定と同様に、特定された車両情報から求められる車両の大きさと出発地から到着地までの距離から、第３価格の算定を行う。なお、実際の輸送費は、販売される中古車のオプションによって変動するため、第３価格は、目安の金額として、購入者に対して表示されるのが好ましい。なお、第３価格の算定に用いられる車両の大きさは、追加登録処理において登録した情報を用いてもよい。つまり、第３価格は、属性情報及び／又は追加情報から特定される車両の大きさと、販売者及び／又は購入者の出発地及び到着地の入力から特定される輸送距離に基づいて、算出される。

【００６３】

ステップＳ４８において、算定した第３価格を表示することで、購入者は第３価格を参考にして車両の購入の意思決定を行うことができる。

【００６４】

［追加登録処理］

次に、販売支援システムにおける追加登録処理（ステップＳ３）について、説明する。図１０は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける追加登録処理のフローチ

ャートを示す図である。販売者が追加情報を入力する追加登録処理は、販売者端末から意思情報又は追加情報の表示要求の入力を受け付けたことを示す通知があった後に、実行されることが好ましい。

【００６５】

ステップＳ５３で、追加情報送信要求の通知を受信した販売者は、販売支援システムにログインし、追加情報を入力する車両を選択のうえ、販売者端末１に、出品した車両の追加情報を入力する（ステップＳ７１）。販売者端末１よりサーバ装置２に、追加情報の送信し（ステップＳ７２）、サーバ装置２にて、追加情報を受信する（ステップＳ７３）。サーバ装置２にて、追加情報が登録される（ステップＳ７４）。サーバ装置２より購入者端末３に、追加情報が登録された登録通知が送信され（ステップＳ７５）、購入者端末３にて、追加通知が受信される（ステップＳ７６）。ステップＳ７１～Ｓ７６の処理をとおして、追加登録処理は終了する。

【００６６】

ステップＳ７１において入力される追加情報は、簡易登録情報に入力されていない情報であり、車両の購入の意思決定に必要な情報である。例えば、出品した車両の内装の写真、外装の写真、動画、走行距離、修復歴、キズ、車検時期等である。また、例えば、ＥＣＵ等の車両内のコンピュータ装置に記憶された情報を、追加情報として入力してもよい。車両内のコンピュータ装置に記憶された情報には、例えば、ドアの開閉情報が記憶されており、それらの情報から、修理履歴等を予測することができる。販売者は、上述の通知処理にて、購入者よりリクエストがあった情報を登録することもできる。また、販売者は、車両の販売価格を入力することができる。車両の販売価格は、販売予定価格と同じでもよいし、変更してもよい。このとき、第１算定処理を実行し、第１価格を表示させて、値決めの参考にしてもよい。

【００６７】

なお、ステップＳ５３の追加情報送信要求の通知には、該車両の追加情報を入力するためのＷｅｂページに関連付けられたリンクが表示されていてもよい。つまり、通知には、追加情報送信要求を示す情報とともに、商品に関する追加情報の入力のための情報が含まれていてもよい。販売者は該リンクより、Ｓ７１の処理を行う販売支援システムのＷｅｂページにアクセスすることができる。

【００６８】

ステップＳ７４の追加情報の登録では、サーバ装置２において、簡易登録処理において登録した簡易登録情報と、追加情報とを関連付けて記憶する。また、追加情報が登録されると、販売者、購入者、及び管理者は、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、該車両の簡易登録情報及び追加情報を閲覧できるようになる。つまり、ステップＳ５０にて、追加情報送信要求の送信を行った購入者端末だけでなく、販売支援システムを利用する全ての端末である、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて、該車両の簡易登録情報及び追加情報を閲覧できる。

【００６９】

ステップＳ７４にて、追加情報が登録された後、購入者は販売支援システムにおいて車両の追加情報を閲覧することができるが、このとき、ステップＳ４７及びＳ４８の処理を実行し、第３価格を購入者端末３にて表示させてもよい。

【００７０】

ここで、登録された車両の追加情報を購入者端末等にて表示させることができるが、販売者が登録した車両の写真とは別に、販売当初の車両の形状、及び／又は色味を示す画像を、サーバ装置２に記憶させた画像やインターネット等から抽出し、表示させてもよい。販売当初の車両の形状、及び／又は色味を示す画像は、実際の車両の色味を示す画像ともいえる。実際の車両の色味を示す画像とは、例えば、製造メーカが提供する該車両の画像や、色見本の画像である。該画像は、車両全体が表示される画像でもよいし、車両の一部が表示される画像でもよいし、車両の色味のみが表示される画像でもよい。

【００７１】

実際の車両の色味を示す画像は、簡易登録処理において、車両識別番号から特定した車種及び／又は車両の色味から、特定される。又は、追加登録処理において、販売者端末により入力された車種及び／又は車両の色味から、特定される。車両の色味の入力では、例えば、販売者が、車種を選択すると、その車種に存在する色味の情報が表示され、その色味の中から、車両に係る色味の系統を選択する。さらに、選択した色味の系統から、より具体的な車両に係る色味を選択するとしてもよい。具体的には、車種を選択すると、色味の系統として赤系、青系、黄系、グレー系、臙脂系、白系、黒系等の選択肢が表示され、そこから色味の系統として赤系を選択できる。さらに、その後、チャイニーズレッド、ルビーレッド、コーラルレッド、ローズレッド等、より具体的な色味が表示され、その中から車両に係る色味を選択することで色味の入力ができる。車両の色味の入力は、車両のカラーコード（カラーナンバーともいう）を入力するとしてもよい。また、入力する色味は、販売する車両に応じて、１種類を選択してもよいし、複数種類を選択してもよい。入力された色味から、実際の車両の色味を示す画像を特定できる。これにより、追加登録処理にて登録した写真の写りによっては、実際の車両の色味と異なって見える場合もあるが、購入者は、実際に販売される車両の色味を確認することができる。なお、車両識別番号から、車両の車種や車両の色味が特定できるときは、ステップＳ４６の簡易登録情報の表示の際に、車両の画像や車両の色味が表示された画像を表示させることができる。

【００７２】

ステップＳ７５において登録通知を送信される購入者端末３は、追加情報送信要求を送信した全ての購入者端末３でもよいし、該車両の購入を希望する旨、又は該車両の追加情報の閲覧を希望する旨を送信した購入者端末３のみでもよい。また、追加情報送信要求を送信するときに、登録通知が必要と入力した購入者端末３のみに通知を送信する構成としてもよい。

【００７３】

［購入処理］

次に、販売支援システムにおける購入処理（ステップＳ４）について、説明する。図１１は、本発明の実施の形態に係る販売支援システムにおける購入処理のフローチャートを示す図である。

【００７４】

購入者は、車両の購入を希望する場合、購入者端末３にて、購入する車両を選択する（ステップＳ８１）。購入者端末３より、サーバ装置２に、購入要求が送信され（ステップＳ８２）、サーバ装置２にて、購入要求を受信する（ステップＳ８３）。次に、サーバ装置２より、販売者端末１に購入通知が送信され（ステップＳ８４）、販売者端末１にて購入通知を受信する（ステップＳ８５）。このとき、サーバ装置２より管理者端末に購入通知を送信するとしてもよい。次に、サーバ装置２より購入者端末３に請求情報が送信され（ステップＳ８７）、購入者端末３にて請求情報を受信する（ステップＳ８７）。購入者端末３にて、受信した請求情報に基づいて支払いを実行して（ステップＳ８８）、購入処理は終了する。

【００７５】

ステップＳ８２の購入要求では、購入する車両の到着地を入力する。車両の希望納期を入力してもよい。また、購入要求を送信する前に、購入者が負担する輸送費を含めた購入する車両に係る費用の見積もりを表示するとしてもよい。

【００７６】

ステップＳ８８の処理が実行されると、支払いが実行された旨が販売者端末１及び管理者端末に通知される。この通知をもって、販売者及び管理者は、購入された車両の発送の準備を進めることができる。具体的には、管理者は、購入者が入力した到着地まで車両を輸送するための手配を進める。

【００７７】

ここで、本発明の一態様において、販売する車両について、販売者が該車両の基準価格よりも低い価格で購入者に販売した場合に、販売者に対して特典を付与する構成を採用す

ることができる。「基準価格」とは、販売する商品の基準となる価格である。例えば、車両の仕入れ価格としてもよいし、販売する車両について、識別番号により特定された車両の属性情報から、販売支援システムに簡易登録及び／又は追加登録されている、同じ又は類似の属性情報を有する車両の価格を複数抽出し、それらの平均価格としてもよいし、販売支援システムに簡易登録及び／又は追加登録されている、同じ又は類似の属性情報を有する車両の取引実績を抽出し、それらの平均価格としてもよい。また、販売する車両について、一般的なオークション相場の価格を用いてもよい。なお、不正防止の観点から基準価格は、販売者から入力される価格ではなく、システムから抽出された平均価格やオークション相場の価格等を用いることが好ましい。

【００７８】

販売者に対する特典の付与は、所定の物品やサービスの譲渡、貸与、又は、交換の意味を有する。具体的な特典としては、例えば、販売支援システムにおいて利用することができるポイント又は仮ポイントの付与や、販売支援システムの利用料・仲介手数料の割引、販売者が負担する輸送費の割引、該販売者が販売する他の車両について、他の販売者の車両よりも購入者に閲覧されやすいような表示の提供、所定の物品の貸与、景品の交換等があげられる。また、販売者に対する特典の付与は、販売者が該車両の帳簿価額に所定の金額以内を加算して購入者に販売した場合に実行されてもよい。所定の金額としては、仕入れ価格から帳簿価額を減算した金額から、所定の割合を乗じた金額を設定できる。所定の割合は、仕入時からの経過年数により変化させてもよい。

【００７９】

これにより、販売者は仕入れ価格よりも低い価格であっても、特典を受けられるため、車両を出品する動機づけになる。また、帳簿価額よりも高い価格で売買が成立したとき、実質の販売利益を得ながら、特典を受けることができる。

【００８０】

上述した実施の形態では、主に販売支援システムを中古車販売に適用し、車台番号を識別番号として利用する構成について説明したが、これに限らない。例えば、中古物品等の商品の販売に販売支援システムを適用する場合、車台番号に代えて、商品のバーコード、製造番号、及び、シリアルコードを識別番号（識別情報）として利用できる。商品のバーコード、製造番号、及び、シリアルコードは、一定の規則に則って定められているため、サーバ装置２に、予めこれらの識別番号から商品の属性情報を特定させるためのデータベースを記憶させておく。データベースには、商品のバーコード、製造番号、及び、シリアルコードとこれらにより特定される商品の属性情報との関係を関連付けて記憶させる。また、商品の画像を販売者端末１から入力し、画像認識を行うことで、商品の属性を特定する構成を採用してもよい。

【００８１】

［その他の実施の形態］

上述した実施の形態では、簡易登録処理にて、主に、識別番号の入力と、販売予定価格の入力とにより、簡易登録情報の登録を行う構成について説明したが、販売者端末１にて、商品の属性を特定可能な情報の入力を受け付け、受け付けた情報をもとに商品の出品を完了するという構成に、本発明に係る販売支援システムを応用してもよい。さらに、販売者端末１にて、簡易登録処理において入力を受け付けた情報とは異なる情報であって、商品に関する情報（追加情報ともいう）の入力を受け付け、受け付けた追加情報を出品が完了した商品に関連付けて記憶する構成を採用できる。なお、以下の説明において、上述の処理を実行する場合は、説明を適宜省略することがある。

【００８２】

このとき、簡易登録処理（ステップＳ１）において、販売者は、販売者端末１に商品の属性を特定可能な情報（商品に関する情報ともいう。）を入力する（ステップＳ１１）。商品の属性を特定可能な情報とは、出品する商品について、属性を示す属性情報であり、上述の識別番号も含まれる。商品の属性情報とは、例えば、商品の名称、商品のカテゴリ、商品の状態、グレード、大きさ、製造年、生産国、製造メーカ、色等の商品に関する情

報をいう。なお、ステップＳ１１において、販売者端末１にて入力を受け付けた商品に関する情報は、識別番号を含まないものであってもよい。ステップ１１にて入力される商品に関する情報は、少なくとも１の、商品の属性を特定できるものであればよい。販売者端末１にて入力を受け付けた商品に関する情報は、販売者端末１からサーバ装置２に送信され（ステップＳ１５）、サーバ装置２にて、該情報を受信する（ステップＳ１６）。該情報は、サーバ装置２にて、簡易登録情報として、登録される（ステップＳ１８）。

【００８３】

簡易登録情報が登録されると、該商品は、販売支援システムにおいて、出品された商品として扱われる。つまり、登録された簡易登録情報は、出品された商品情報として扱われる。出品された商品情報は、販売支援システムを利用する販売者、購入者、又は管理者が操作する全ての端末にて閲覧できる。つまり、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて商品情報を閲覧できる。

【００８４】

なお、本実施の形態において、ステップＳ１１にて識別番号を入力したか否かに関わらず、ステップＳ１２～１４の処理、及びステップＳ１７の識別番号をもとに、商品情報を特定する処理を適宜省略してもよい。このとき、ステップＳ１１にて識別番号を入力していた場合は、識別番号が商品の属性情報として簡易登録情報に登録される。また、ステップＳ１１にて識別番号を入力した場合、ステップＳ１２～１４の処理、及びステップＳ１７の処理を実行してもよい。このとき、識別番号から特定された商品の属性情報と、販売者端末にて入力を受け付けた商品に関する情報とが、簡易登録情報として、登録される。

【００８５】

なお、販売者は、商品の属性情報と共に、販売予定価格を入力し、サーバ装置２にて簡易登録情報として登録してもよい。また、簡易登録処理において、販売者が販売者端末１に入力することを求められる必要最低限の情報は、管理者によって設定されることが好ましい。例えば、商品の名称を必須の入力事項としてもよい。このとき、商品の名称を販売者端末１に入力すれば、簡易登録情報として登録され、出品した商品として扱われる。

【００８６】

これにより、販売者は、商品に関する必要最低限の情報を入力して、商品の出品を完了できるので、商品の出品のハードルを下げることができる。

【００８７】

簡易登録処理（ステップＳ１）が行われると、上述の通知処理（ステップＳ２）、追加登録処理（ステップＳ３）、及び購入処理（ステップＳ４）が実行される。上述のとおり、追加情報が登録されると（ステップＳ７４）、販売者、購入者、及び管理者は、管理者が運営する販売支援システムのＷｅｂサイトへのアクセスにより、該商品の追加情報を閲覧できるようになる。つまり、ステップＳ５０にて、追加情報送信要求の送信を行った購入者端末だけでなく、販売支援システムを利用する全ての端末である、複数の販売者、複数の購入者、又は複数の管理者が操作する端末にて追加情報を閲覧できる。

【００８８】

販売者は、ステップＳ５３にて、追加情報送信要求の通知を受信した回数や内容に応じて、ステップＳ３の処理を行うか否かを判断できる。なお、ステップＳ５３の追加情報送信要求の通知は、上述の所定の条件を満たすことで、実行するとしてもよい。これにより、販売者は、簡易に出品を完了した商品のうち、販売の可能性がある商品について、追加情報の登録を実行するという判断ができるので、販売可能性の低い商品に充てる手間を減らすことができる。また、所有する商品について、一旦簡易登録処理を行い、販売可能性のある商品についてのみ追加情報登録処理を実行できることから、より多くの商品を出品するモチベーションにつながる。

【００８９】

なお、「追加情報」とは、商品に関する情報であって、簡易登録処理にて入力を受け付けた商品に関する情報とは異なる属性情報であり、商品の出品における追加登録において

必要な情報、追加登録において登録された情報、又はその他の情報をいう。追加情報は、商品の購入の意思決定に必要な情報であり、商品の詳細な情報ともいえる。簡易登録情報にて入力を受け付けていない商品の属性情報としては、例えば、出品した商品の他の角度からの写真、動画、さらに詳しい商品の説明等である。販売者は、通知処理にて、購入者よりリクエストがあった情報を追加情報として登録することもできる。また、販売者は、商品の販売価格を入力することができるし、販売予定価格から変更した販売価格を入力してもよい。

【００９０】

なお、ステップＳ１１にて商品の属性情報を特定する識別情報を含まない場合、通知処理における第３算定処理と第３価格の表示（ステップＳ４７及び４８）はなされないことが好ましい。また、ステップＳ１の処理の後、直ちにステップＳ３の処理を実行してもよい。また、購入者は、ステップＳ３の処理、ステップＳ１及びステップＳ２の処理、又は、ステップＳ２及びＳ３の処理を省略して、ステップＳ４の購入処理を実行してもよい。また、ステップＳ２の処理は、ステップＳ３の後にさらに実行してもよいし、ステップＳ２とＳ３の順番を入れ替えて実行してもよい。

【００９１】

また、販売支援システムを、サービスの販売に適用してもよい。この場合、簡易登録処理において、サービスの属性を特定可能な情報を入力する。また、サービス名、及び販売予定価格を入力し、簡易登録情報として登録するとしてもよい。簡易登録処理（ステップＳ１）が行われると、上述の通知処理（ステップＳ２）、追加登録処理（ステップＳ３）、及び購入処理（ステップＳ４）が実行されることが好ましい。追加登録処理では、販売者端末１にて、簡易登録情報として入力した情報とは異なるサービスの情報の入力を受け付け、受け付けた該情報を出品が完了したサービスに関連付けて記憶する構成を採用できる。

【００９２】

本発明によれば、識別情報をもとに商品の属性を特定するため、販売者端末にて、商品の属性を特定可能な識別情報の入力を受け付けることで、販売支援システムに出品する商品の登録ができるので、出品のハードルを下げることができる。また、本発明によれば、購入者端末にて、特定した商品の属性に関する属性情報を表示し、購入者端末にて、商品の購入の意思に関する意思情報の入力を受け付ける、又は、属性情報とは異なる商品に関する追加情報の表示要求を受け付け、販売者端末へ、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報を送信するため、販売者は、出品した商品について、購入者からの反響を知ることができる。また、販売者は購入者の所在地が国内海外であるかを問わず、商品を出品し販売することができるので、販路の拡大が期待できる。

【００９３】

本発明によれば、販売者端末にて、追加情報の入力を受け付け、購入者端末へ、追加情報の入力を受け付けた旨の情報を送信するため、購入者は興味のある商品について追加情報が登録されたことを知ることができる。また、本発明によれば、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすこと、を示す情報とともに、前記商品に関する追加情報の入力のための情報を送信するため、販売者が、追加情報の入力をスムーズに実行できる。また、本発明によれば、購入者端末にて、特定した商品の属性に関する属性情報及び商品の価格に関する価格情報を表示するため、購入者は商品の価格を知ることができる。

【００９４】

本発明によれば、商品の仕入時及び仕入価格を入力することで、商品の仕入時及び仕入価格をもとに、商品の価格を決定するための参考となる価格を算定できる。また、本発明によれば、時間の経過により価格算定手段により算定される価格に変化があった場合に、

変化があったことをコンピュータ装置へ通知することができる。商品の価格の設定において、仕入れ値による値付けだけでなく、減価償却を含めた価格により値付けをすることができるので、正確な利益を算定することができる。また、煩雑な計算や計算を外注することで余計な費用をかけることなく、帳簿価額を算定することができる。

【００９５】

本発明によれば、商品の販売をする販売者が、商品の仕入価格よりも低い価格で、商品の購入を希望する購入者に、商品を販売した場合に、販売者に特典を付与するための特典情報を記憶するため、販売者が、仕入れ価格よりも低い価格で商品を販売する動機づけとなる。また、本発明によれば、車検証及び／又は車両識別番号に関する情報をもとに輸送費を算定するため、商品の売買に際し、輸送に係る費用を簡便に把握できる。

【００９６】

本発明によれば、販売者端末にて、意思情報の入力を受け付けたこと、若しくは、意思情報の入力の受け付けが所定の条件を満たすこと、又は、追加情報の表示要求を受け付けたこと、若しくは、追加情報の表示要求の受け付けが所定の条件を満たすことを示す追加情報送信要求を受信した後に、販売者端末にて、追加情報の入力を受け付け、入力を受け付けた商品に関する情報と、入力を受け付けた追加情報を関連付けて記憶し、入力を受け付けた追加情報を、複数の購入者端末において閲覧できる状態とするため、簡便に商品についての情報を、商品の購入を希望する購入者へ伝えることができる。また、購入者は、購入したい商品について知りたい情報や購入したい旨を伝えることができる。また、販売者は、出品した商品について、反響を把握し、販売価格や出品を継続するか等の判断に活かすことができる。また、商品に関する情報の入力を受け付けたことで商品の出品が完了し、さらに、入力を受け付けた情報とは異なる情報を出品が完了した商品に関連付けて記憶できるため、販売者が、簡易に商品を出品することができる。また、より多くの商品を出品するモチベーションにつながる。

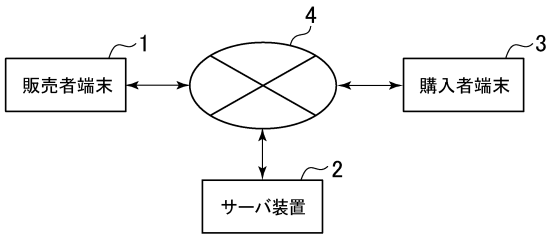
【符号の説明】

【００９７】

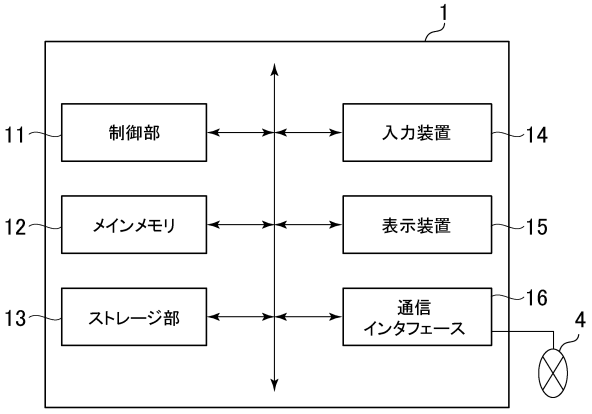
１：販売者端末　２：サーバ装置　３：購入者端末
４：通信ネットワーク
１１：制御部　１２：メインメモリ
１３：ストレージ部　１４：入力装置　１５：表示装置
１６：通信インタフェース
２１：制御部　２２：メインメモリ
２３：ストレージ部　２３：通信インタフェース

【図面】

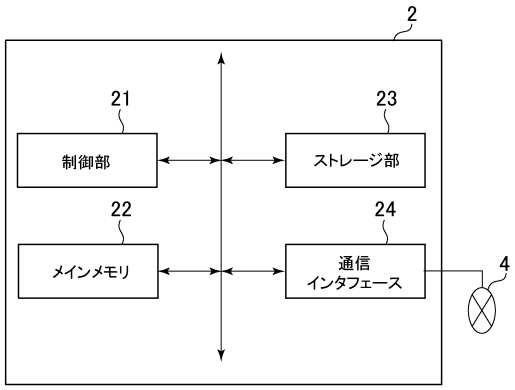
【図１】


1
販売者端末
4
3
購入者端末
2
サーバ装置

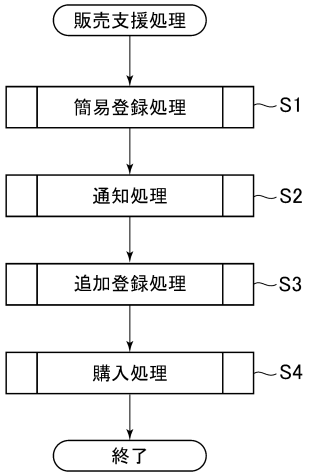
【図２】


1
11
制御部
入力装置
14
12
メインメモリ
表示装置
15
13
ストレージ部
16
通信
インタフェース
4

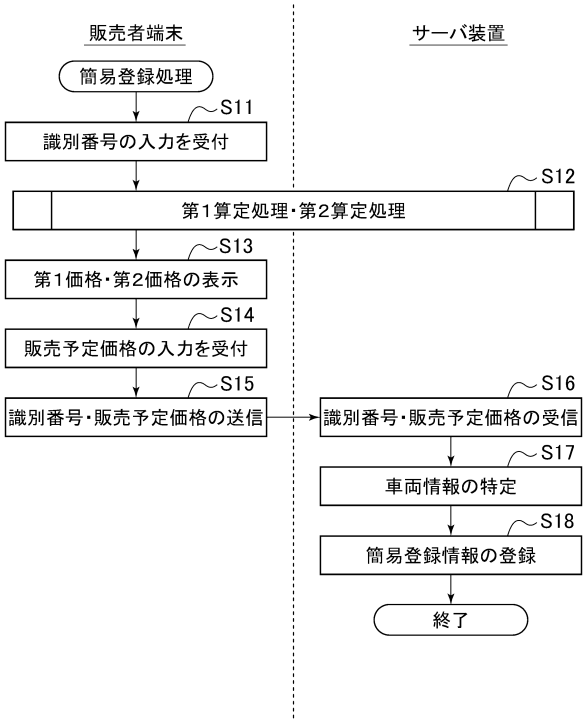
【図３】


2
21
制御部
23
ストレージ部
22
メインメモリ
24
通信
インタフェース
4

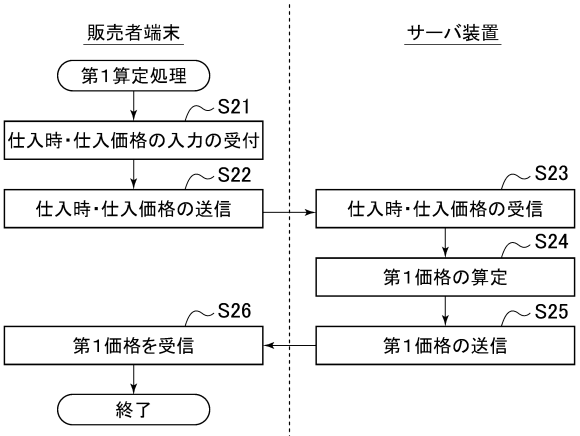
【図４】


販売支援処理
簡易登録処理
S1
通知処理
S2
追加登録処理
S3
購入処理
S4
終了

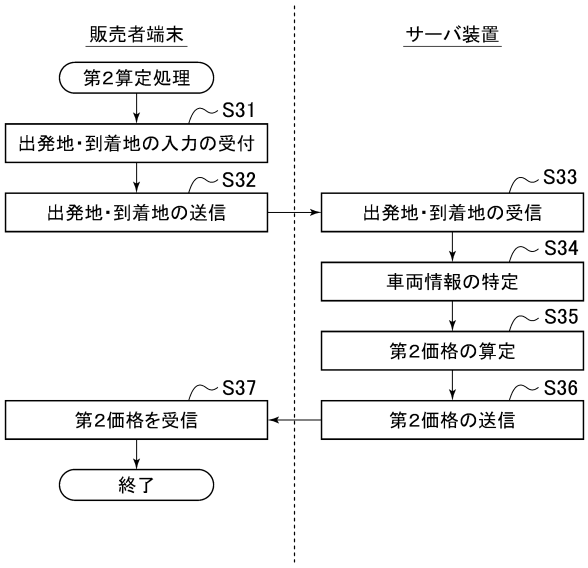
【図５】


販売者端末
サーバ装置
簡易登録処理
S11
識別番号の入力を受付
S12
第1算定処理・第2算定処理
S13
第1価格・第2価格の表示
S14
販売予定価格の入力を受付
S15
識別番号・販売予定価格の送信
S16
識別番号・販売予定価格の受信
S17
車両情報の特定
S18
簡易登録情報の登録
終了

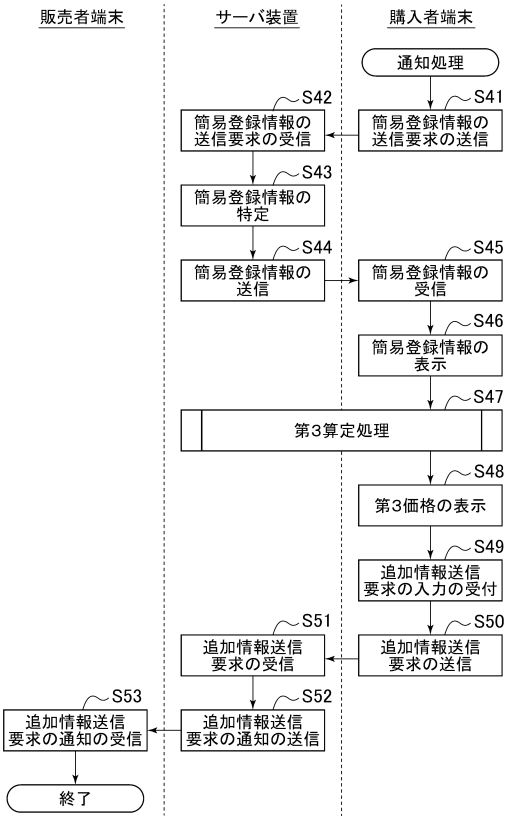
【図６】


販売者端末
サーバ装置
第1算定処理
S21
仕入時・仕入価格の入力の受付
S22
仕入時・仕入価格の送信
S23
仕入時・仕入価格の受信
S24
第1価格の算定
S25
第1価格の送信
S26
第1価格を受信
終了

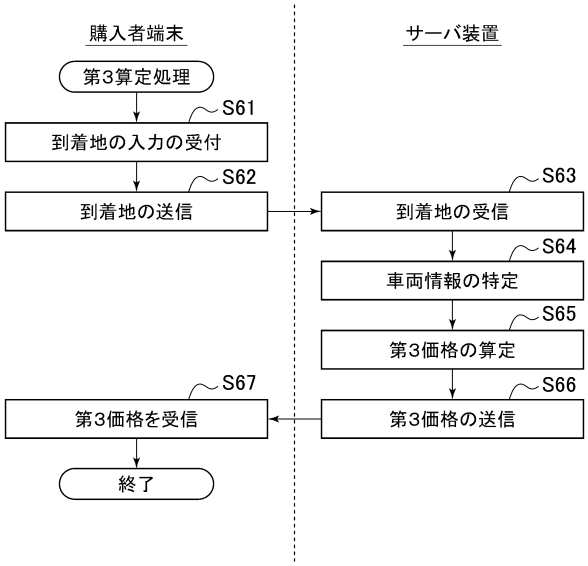
【図７】


販売者端末
サーバ装置
第2算定処理
S31
出発地・到着地の入力の受付
S32
出発地・到着地の送信
S33
出発地・到着地の受信
S34
車両情報の特定
S35
第2価格の算定
S36
第2価格の送信
S37
第2価格を受信
終了

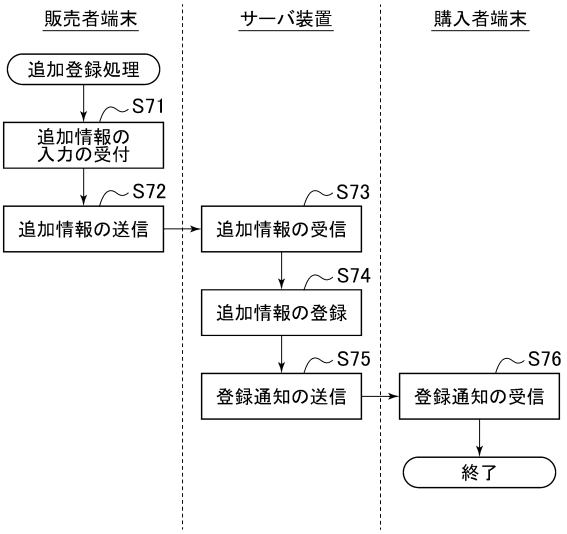
【図８】


販売者端末
サーバ装置
購入者端末
通知処理
S41
簡易登録情報の送信要求の送信
S42
簡易登録情報の送信要求の受信
S43
簡易登録情報の特定
S44
簡易登録情報の送信
S45
簡易登録情報の受信
S46
簡易登録情報の表示
S47
第3算定処理
S48
第3価格の表示
S49
追加情報送信要求の入力の受付
S50
追加情報送信要求の送信
S51
追加情報送信要求の受信
S52
追加情報送信要求の通知の送信
S53
追加情報送信要求の通知の受信
終了

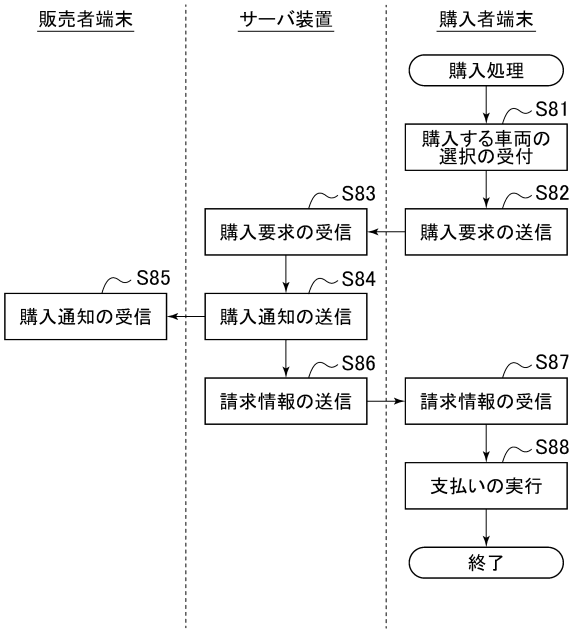
【図９】


購入者端末
サーバ装置
第3算定処理
S61
到着地の入力の受付
S62
到着地の送信
S63
到着地の受信
S64
車両情報の特定
S65
第3価格の算定
S66
第3価格の送信
S67
第3価格を受信
終了

【図１０】


販売者端末
サーバ装置
購入者端末
追加登録処理
S71
追加情報の
入力の受付
S72
追加情報の送信
S73
追加情報の受信
S74
追加情報の登録
S75
登録通知の送信
S76
登録通知の受信
終了

【図１１】


販売者端末
サーバ装置
購入者端末
購入処理
S81
購入する車両の
選択の受付
S82
購入要求の送信
S83
購入要求の受信
S84
購入通知の送信
S85
購入通知の受信
S86
請求情報の送信
S87
請求情報の受信
S88
支払いの実行
終了

フロントページの続き

(56)参考文献 特開２００３－１３２２４５（ＪＰ，Ａ）
特開２０１８－０１８３７５（ＪＰ，Ａ）
特開２０１８－０３３０８５（ＪＰ，Ａ）
特開２０１７－１３４７８８（ＪＰ，Ａ）
特開２００７－１４０５９８（ＪＰ，Ａ）
特開２００５－１２２６２９（ＪＰ，Ａ）
特開２０２１－０６０８３８（ＪＰ，Ａ）
特開２０１０－００９５７２（ＪＰ，Ａ）
特開２０２１－１７７３８４（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－２６５７４５（ＪＰ，Ａ）
［車検証ガイド］車体（車台）番号とは？車体番号の検索｜チューリッヒ，[online]，2021年11月13日，［検索日 令和６年６月１３日］，インターネット＜URL：https://web.archive.org/web/20211101000000*/https://www.zurich.co.jp/car/useful/guide/cc-where-is-the-vin/＞

(58)調査した分野 (Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｑ １０／００－９９／００